

高校入試当日までの勉強の仕方（1）

—開倫塾私立学業特待模試日から冬期講習会終了日まで—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

県立高校入試まであと4か月となりました。与えられた120日という日数は全員同じですが、その使い方により合否が決まります。そこで、今回は、入試まで120日余りの過ごし方に的を絞りお話しをさせていただきます。

*ものごとに立ち向かうにあたって、作戦を練ってやるのと、ただ時の流れに身をまかせるのは大きな違いが、結果において出ます。どのようにしたらよい結果が出るのか、十分に考えてから思い切った行動に出ることが大事です。但し、どうしようとあれこれ悩んでいると、悩むことに時間をとられ過ぎ何もしないで終わってしまうことも多いようです。「悩む時間は一回10分まで。悩むヒマがあったら机に向かおう。」何十時間悩んでも学力は全く向上しません。悩む場合は一回10分間と時間を区切って悩むことが大事です。

*他人の悩みにつき合う時間、逆に言えば、他人を自分の悩みにつき合わせる時間も10分間と決めた方がお互いのためです。最大の問題は「悩みの電話かけ」です。最も学力の身につかない人は、悩みをもつ友達数人から電話をかけられる人のよい女子中3生です。一回の悩み電話は1時間～1時間半ですので、3～4人の人から電話をかけられたら全くその日は勉強にはなりません。本当に気の毒なくらいです。「悩み電話」はかけている人、かけられる人双方の学力低下の最大原因となっていますので、自粛して下さい。

*ついでに言っておきますが、中3のこの時期になって、テレビを見すぎたりファミコンをやっている人は話になりません。私立学特入試という高校入試直前1か月なのですから、余計なことには一切時間を使うべきではない。30分以上の長風呂も時間ももったいない。最後に家族や友人とのケンカは、エネルギーを使い果たしその上2～3日勉強が手につかなくなる場合が多いですから、「ヤバイ」と思ったら、何か用事をつくってその場から立ち去ることも受験生の「技術」だと思ってその方法を自分なりに身につけて下さい。答案作成だけでなく、勉強時間を確保することも受験勉強です。以上が一般論です。

2. 各時期の勉強の仕方

☆11月3日～11月6日（日）まで

11月3日に開倫塾主催私立学業特待模試が終了したら次の日曜日の11月6日までかけて、もう

一度 1 問 1 問解答集を見ながら全問やりなおして下さい。不確かであったところは、解説集や教科書・参考書で十分勉強し同じ問題が出たらできるまでにしておくこと。テストを受けたら、3 ～ 4 日その復習をすることが次のテストで同じ誤ちをしなくなる、つまり、高得点を確保するポイントです。

☆ 11 月 7 日側から 12 月初旬の期末試験終了日まで

期末試験の勉強のみに集中すべきです。内申書で高校に伝えられる最後の定期テストですから、高校入試そのものだと思って眠る時間も惜しんで期末対策をして下さい。この期末テストの範囲は高校入試でどんな問題が出て大丈夫と思われるほど勉強に打ち込むこと。

開倫塾では期末対策の「的中予想問題集」が、1 学期にひきつづいて英数国理社のほか音体技家美の実技 4 科目についても配布されます。300 ページ以上の部厚い問題集ですが、自分の学校のテスト範囲と重なっている問題はすべて解き、できなかったところには問題番号の上に赤丸をつけ、2 度 3 度くりかえして全部できるようになった段階で、もう 2 ～ 3 度教科書をていねいに勉強すれば、現在 5 段階で 3 の評価の人でもこの次の期末では、全科目 100 点がとれます。範囲の限られた定期試験は、勉強をしたかしないかだけで点数がすべて決まります。100 点を是非この文をお読みの皆さんには取ってもらいたいので、是非「的中問題集」を最大限活用してがんばってもらいたい。

もし、家で勉強できなければ、学校が終わったあとすぐ塾の空いている教室で夜 10 時 30 分まで勉強して OK ですから、開倫塾の先生とよく相談して下さい。

☆ 期末試験終了当日から私立学業特待試験日まで

自分の受験する学校の過去数年分の学特問題と開倫塾で配布した「私立学特問題集」の 2 種類の問題集を徹底的にやるのが第一。相当難しい問題が多いですがくりかえし納得するまでやって下さい。英語なら、問題文に出てきた単語はすべて書けるまでにすること、数学なら問題ごとに解き方をすべて覚え込むまでにすること。国語なら、問題文に出た漢字はすべて書けるようにすること。理科・社会は少しでも不安なところがあれば参考書に当り、十分理解できる状況にしておくこと。

なにしろ、この試験は入学試験そのものですので、受けたからには何が何でも合格せねばなりません。問題の程度は、県立高校以上のものが多いので、手を抜けば不合格となり、十分勉強すれば合格という非常にはっきりしている試験です。ただ、受験生は学校の成績が 3 以上の生徒とほぼ決っていて、ほぼ同じ程度、出る問題やレベルも今までの問題を見ていると大体予想できますので、開倫塾で示す勉強方法や教材等を確実にこなしていけば合格はできますので安心して下さい。問題は唯一つ。各人が十分勉強時間をとっているかどうかだけです。もし家で勉強できなければ、期末対策のときと同じように、学校が終って家にカバンをおいたらすぐに開倫塾に来て、夜 10 時半まで空いている教室で勉強するようにして下さい。家に帰っても夜 12 時まで毎日がんばって机に向かって下さい。そうすれば必ず学特にも合格します。

☆ 私立学特試験から冬休み最終日まで

学校に行かなくてもよい期間なので、一日中朝おきてから夜寝るまで勉強して下さい。3 学期に入ると、卒業準備をはじめとして、様々な行事や私立高や公立高の入試手続のため時間をとられ、落ちついて勉強ができません。集中的に一日中勉強できるのはこの時期だけです。

何をやったらよいかといえば、県立私立高校レベルの過去問を集中的に解くことがこの時期最も

力をつける方法ですので、その準備はすべて開倫塾ですてあります。

12月31日から1月4日までの5日間は、一日1科目8時間以上の集中学習もその前後の冬期講習の他に昨年から準備してあります。家で何を勉強したらよいかも準備してありますから、十分開倫塾を活用してもらいその通りにやって下さい。一昨年は450名、昨年は500名、今年は600名と毎年何百名もの中3生をお預かりしていますので、開倫塾のエネルギーの大半をかけて中3生の合格のためのスケジュール組みと教材づくりをつづけてまいりました。どうか御安心して入試前日までついてきて下さい。

3. 最後に--規則正しい生活を

冬休み明けから県立高校入試当日までの過ごし方は、開倫塾ニュースの1月号でのべさせていただきますが、最後に一言。毎日決った時間に起き、決った時間に床に就くという規則正しい生活をし、身体と精神の健康を保つよう心掛けること。虫歯や持病は受験生であったら根気強く通院し、入試の日までにできるだけ症状を軽くしておくこと。心おだやかに受験生であっても「明るく、楽しく、元気よく」の精神で毎日過ごすこと。がんばりましょう。

開倫塾の先生方は皆さんが元気に受験生活を送れ、希望校合格を果たしてくれることを最大の喜びとしますので、心配なことや気がかりなことがあったら、何でも遠慮なく相談して下さい。家で勉強できなければ塾の空いている教室ですて下さい。教材がなければ欲しいと言って下さい。できることは何でもしてあげます。